

西柘植小だより

みんなちがうからすてき げんきいっぱい えがおいっぱい

NO.11

2025（令和7）年7月11日
伊賀市立西柘植小学校
発行責任者 里田雅彦

授業参観・学級懇談会



7月3日（木）に第2回目の授業参観・学級懇談会を行いました。保護者の皆さんのご参加ありがとうございました。今回の授業参観では、算数や国語の学習、自立活動の様子を参観いただきました。運動会から1ヶ月がたち、一段と成長した子どもたちの様子を見ていただけたことだと思います。子どもたちも保護者の方に見ていただきはりきって授業に取り組むことができました。

学級懇談会では、日頃の子どもたちの様子や夏休みの生活について担任からお話をさせていただきました。また、子どもたちの家庭での様子も聞かせていただきました。聞かせていただいたことをもとに1学期のしめくくりをしっかりとしていきたいと思います。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いします。



放送委員会活動

6月26日（木）からの3日間、給食時間に今年度新しく来られた先生方へのインタビュー、7月1日（火）からは1年生へのインタビューを行いました。インタビュアは放送委員がつとめ、今年度は全校児童がランチルームで給食を食べているので、インタビ



ューを受ける人の表情も見ながら、聞くことができました。インタビュー内容は、誕生日、好きな物や好きなこと、先生方にはそれに加えて小学校時代の一番の思い出、みんなへの一言メッセージを答えてもらいました。普段なかなか聞けない話も出てきて、楽しく聞かせてもらう中で、1年生や先生方のことを知ることができました。



4年生人権学習

7月2日(水)、伊賀市社会福祉協議会の中西さん、八里さん、松山さんに来校いただき、車椅子体験を行いました。まず、はじめに車椅子の仕組みや車椅子の役割について話を聞きました。車椅子があると、誰もが買い物に行けたり、スポーツができたりして行動範囲が広がることがわかりました。次に西柘植小学校で車椅子を使って生活するとなった時をみんなで想像しました。段差や坂道があること、通路が狭いこと、高い棚があること、2階に多目的トイレがないこと等、いろいろ不便なことがわかつてきました。実際に生活するとなると心配だという声が子どもたちから出されました。そうした不安な気持ちを解消するために、まわりの人たちにできることについても考え合いました。ドアを開けたり荷物を持ったり手助けする、一緒に行く、「大丈夫?」と声かける等、それぞれに自分にできることを出し合いました。次に、体育館で実際に車椅子に乗ったり、押してみたりする体験を2人ペアで行いました。数本置かれたコーンをジグザグに通ったり、敷かれたマットの上を通ったり、マットの段差を上ったりする中で、車椅子に乗って操作することの難しさ、車椅子を押す人(介助する人)の重要性に気づいていきました。段差を越える時、車椅子に乗っている人は介助者に全幅の信頼をよせなければならぬことがわかり、信頼関係の大切さもわかりました。今回の学習の中で気づいたことをもとに自分や学級を振り返り、みんなが安心して過ごせる学級、学校について考えていきます。



PTA 地区懇談会

6月19日(木)から4日間に分けて、PTA地区懇談会を行いました。たくさんの保護者の皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。前半は、「自分の見方を振り返ろう」をテーマに懇談を行いました。グループに分かれ、地区委員さんの司会のもと、3つの「お題」に対して、YESかNOかのカードを提示し、なぜその考えになったのかを交流しました。全員の考えがYESやNOに一致する時や一致しない時があり、それぞれの立場や視点によって考え方方が変わることに気づくことができました。はじめはYESの考えていたのに、NOの考えを聞いていると考えが揺らいでいくこともありました。私自身も保護者の皆さんと考え方を交流し合う中で、さまざまな気づきがあり、自分を振り返って考えることができました。後半は、登下校、夏季休業中のラジオ体操等について話し合っていただき、子どもたちの様子、地域の様子について知ることができました。運営に携わっていただいた地区委員さん、教養同和研修委員さん、本部役員さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

■■■■■保護者アンケートへのご協力ありがとうございました■■■■■

先日は、お忙しい中、保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計結果を後日、お知らせさせていただきます。